

(対象期間：2020/4/27～2020/5/8)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2020年5月8日)

【株式市場】

4月27日、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が流動性リスク対策として投資信託に5,000億ルピーを供給する枠組みを設けた事などから、インド株式市場は30日まで堅調に推移しました。5月4日には国内のロックダウン（都市封鎖）の2週間延長が嫌気され大きく下落、一旦反発したものの、追加の景気支援策が出されない事が嫌気され7日には再び下落しました。8日は海外市場の上昇に支えられて反発し、対象期間でも上昇となりました。

2020/4/24	2020/5/8	変化率
31,327.22	31,642.70	+1.01%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年5月8日)

【債券市場】

4月27日はRBIがオペレーションツイスト*を実施したことから、10年国債利回りは低下（価格は上昇）し、その後もRBIによる流動性供給への期待感が支援材料となり、利回りの低下傾向が続きました。翌週も、5月8日に行われる10年国債の入札や、原油価格が下落する中で政府の燃料税引き上げによる税収増加への期待感に支えられて、利回りの低下傾向が続きました。8日も国債の入札結果が好感されて利回りは低下、対象期間でも利回り低下となりました。

2020/4/24	2020/5/8	変化幅
6.167	5.971	-0.196

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年5月8日)

【為替市場】

4月27日の週は、投資家のリスク選好が続く中でインド株式市場が上昇したことからルピーは対米ドルで上昇しました。翌週は、インドのサービス業PMI（購買担当者景気指数）を含む経済指標の大幅な悪化を受けて景気に対する懸念が強まったことなどから、ルピーが対米ドルで下落する場面もありましたが、対象期間ではルピー高米ドル安となりました。一方、円も対米ドルで上昇したことから、ルピーは対円では小動きとなりました。

2020/4/24	2020/5/8	変化率
1.407	1.408	+0.02%

*中央銀行が公開市場操作において、長期国債の買い（売り）オペと短期国債の売り（買い）オペを同時に行うことで、市場への資金供給量を一定に保ったまま、長短金利を逆の方向に動かす金融政策の手法の一つ。

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランスとは関係がありません。